

「新選組出陣式」油彩100号 新洋画会 谷 正幸 画伯 奉納



初秋の高幡山を楽しんでいただく

彼岸花植栽プロジェクト

別格本山高幡山金剛寺 貫主 川 澄 祐 勝

三月一日発行の高幡不動尊山報第九十号でお知らせ致しました通り、東京日野ロータリークラブ結成五十周年記念事業の一環として、彼岸花の球根三万個植栽のお話をいただきましたのでその具体化を検討してりましたが、去る四月十五日の関係者会議で「東京日野ロータリークラブ結成五十周年記念・高幡山彼岸花植栽プロジェクト」として事業が正式に発足致しました。

このプロジェクトの事業主体は高幡不動尊と東京日野ロータリークラブですが、協力団体には日野市観光協会・日野映像支援隊・門前三商店会・彼岸花を愛する日野市民の会をはじめ多くの方々名を連ねております。

植栽地は山内八十八ヶ所巡拝路に囲まれた高幡城址の馬場周辺（三頁参照）を中心にさせていただきますが、既に当面の植栽地造成は終了し、その一部に平力男氏（日野市）・実乗院（加須市）奉納の球根計壹万壹千個、更に森田チカ子氏（府中市）・増尾康博氏（紀の川市）・吉田光明氏（八王子市）奉納分を加えて、合計壹万四千個ほどの植付が完了しております。（五月七日現在）

東京日野ロータリークラブ奉納の球根三万個の植栽は八月五日（雨天順延）午前九時からになっておりますが、このセレモニーには当山の僧侶達をはじめ、東京日野ロータリークラブ、日野市観光協会、門前三商店会、彼岸花を愛する会、ロータリーアクト、ウイングの会、日野プロバスクラブ、日野RC新世代育成資金助成団体、日野市軟式野球連盟、日野交通少年団の人達も加わりますのでご希望の方は是非ご参加下さい。

この植栽により高幡山は春の桜三百株・紫陽花は七千五百株・秋のもみじ壹千参百株に加えて初秋の彼岸花が加わりますので、二〜三年後には文字通り一年中皆さんに楽しんでいただく寺になります。

尚当山では彼岸花植栽の最終目標を十万株にしておりますので、今後とも一層のご協力を下さいますようお願い申し上げます。

お不動さまの心——(八十九)

現代の世相から(49) 廣澤隆之

私たちは情報の中で生きています。情報というが難しそうですが、簡単にいえば、私たちが生活の中でさまざまな思いめぐらす判断材料となるのが情報です。たとえば主婦がスーパーのチラシを見て安売り商品を確認して買い物をする場合、そのチラシは主婦にとって重要な情報です。そして茶飲み話のような噂話も、一種の情報といえるでしょう。情報は真実を伝えてくれるとは限りませんが、それによって何らかの判断をすることを助けるものです。

かつて人間は集落を中心として小さな共同体の中で生きていました。そのような小さな共同体の中で生きるだけであれば、さほど多くの情報を必要としません。それでも猿などの共同生活とは比べようもないほど大量の情報によって生活を維持していました。というのも人類が言語を使うということは、他の動物とは質の違う大量の情報処理ができるようになったということでもあるからです。そして人間が他の共同体との間で物の交換や商売を行ったり戦いをしたりする場合には、他の共同体の

情報を得ていないと損をします。このように人々の関わる範囲が広がれば情報も多くなります。

産業が工業化され、労働者が集中的に住む町ができた近代になると、そこには多様な人間が住み、さまざまな利害がぶつかり合います。そして商業も大規模になり、他国との貿易も必要となります。そのようにして情報量はどんどん増え、情報を提供する商売が生まれました。江戸時代の瓦版、そして明治になると新聞が売られるようになったのです。それより前に西洋では現在のものに近い新聞が発行されました。新聞は読んだ人なら誰もが同じ情報を共有できるという特徴がありますが、それは判断材料が共通になるということでもあります。

このことはとても便利なのですが、誰もが同じ判断材料で生きるようになることに疑問を呈した哲学者もいました。その哲学者は新聞が人間を「水平化」として批判しました。「水平化」とは人間の考え、生き方が画一化することです。工業化された社会では、工場や会社で歯車のように労働し、同じような生

活をするようになるので、人間が本来の生き方を失うという危機に直面していると二十世紀を代表する哲学者は警告し続けました。

しかし情報の氾濫が止まることはありません。昭和になると多くの人が新聞だけでなく、新たにラジオという情報取得の道具を手に入れました。そして戦後になるとテレビが人々の情報に圧倒的な影響力を及ぼすことになりました。新聞やラジオやテレビというマスメディアが偏った情報を流し、国民の判断は間違っています。



釈迦如来像 江戸時代

戦前の日中戦争から太平洋戦争の頃に正確な情報ではなく、国民の戦意昂揚を煽ったのも新聞やラジオです。情報は必要ですが、危険でもあります。

現代では新聞やラジオやテレビなどのマスコミ情報とは別に、インターネットによる情報が氾濫しています。インターネットの情報はマスコミでは知り得ない情報を得るためにとても便利ですが、中には無責任な情報の垂れ流し、思い込みのげしい

偏った情報、トイレの落書きのような情報などが入り交じっています。このような情報の渦の中で生きるのが現代人の特徴ともいえます。

またインターネット上で限られた人同士で情報交換をする方法が若い人を中心に盛んになっています。そして仲間同士で他愛もない情報交換を頻繁にするのですが、それに素早く応じないと仲間はずれにされたりする

こともあります。この情報交換のためにスマートフォンを手放せなくなっている高校生や大学生もいます。トイレにもスマートフォンを持って入ったり、ベッドの脇に置いて寝たり、電車の中でもどこでもいつもスマートフォンに釘付けになってしまふこともあります。いわば仲間との情報交換が強迫神経症的に若者の心を蝕んでいます。そのような若者は、総じて、インターネットの中の重要な、あるいは

は貴重な情報を自分で取得する努力をしない傾向にあります。その結果、そのような若者はきわめて狭い世界に閉じこもってしまいがちです。

いつの時代でも情報は生きるための判断材料として重要な働きをしてきました。そして情報が氾濫する現代にあつては情報を取捨選択する知恵を磨かなければなりません。そのような知恵、すなわち生きるための知恵はマスコミやインターネットで得ることはできません。それは人と人との深い結びつきの中で培われます。子供の頃から多くの人と関わり合ったネットワークが人格の形成と知恵の育成をしています。

しかもそのような知恵はいつの時代でも変わることのない大事なものを伝えてくれます。その根本は、人は誰も思い通りに生きることができないというお釈迦さまの教えであるように思えます。思い通りにならない人生を生きることを知れば、自分の限界を知り、謙虚にもなります。そして冷静に自分を見つめることもできるようになります。仏教こそ現代を生きるための究極の情報です。

廣澤隆之先生のプロフィール

● 大正大学教授

● 浄福寺住職

今年の境内整備五事業

本年三月一日号でお知らせ致しました今年の五事業中、境内諸堂の火災報知設備の新設と改修は五月初旬に終了致しましたので残る四事業の進行状況についてお知らせ致します。

一、仁王門屋根葺替工事及耐震補強工事

仁王門を覆う素屋根工事は四月中旬に、平葺き・軒付解体作業は五月初旬に終了し、現在ぐし棟解体等の作業中です。六月からは本格的な銅板葺替工事に入り、ぐし棟の修理葺替も含めて九月初旬に屋根替が終了します。その後仮設足場の解体に入り九月末にはすべての作業が完了の予定で、耐震補強関係の諸工事は八月中旬からとり行われます。

一、塔院身障者用トイレ工事は七月初旬着工・九月末完工予定です。

一、山内八十八ヶ所五十三番付近の見晴の展望回復について市役所と業者を交えて打合せた結果、展望を妨げる樹木の伐採作業は五月末頃となり、この伐採が終ると遠く丹沢・富士山から奥多摩や秩父の山々の眺めが楽しめます。

一、彼岸花球根の植付については、巻頭の「彼岸花植栽プロジェクト」並びに下段の彼岸花植栽地の拡大(図面つき)をご覧ください。

素屋根の架かった仁王門



屋根替工事の為ご参詣は仁王門の左右を回っていただくこととなります。

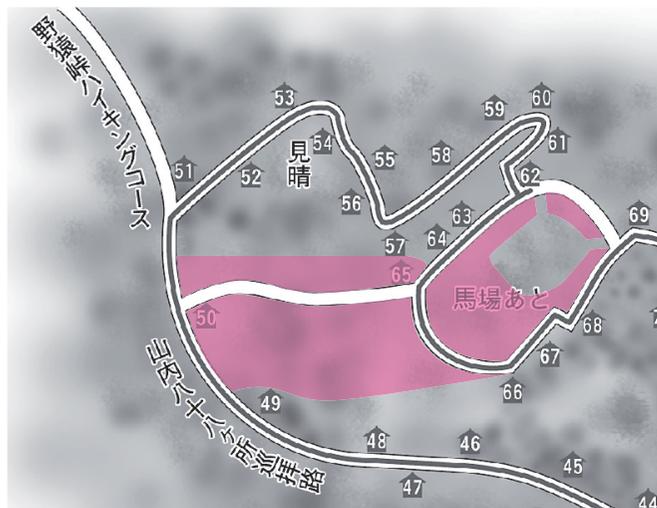
尚 日曜・祝日とご縁日(二十八日)は仁王門を潜って参詣していただけますがやや暗いので足元に充分ご注意ください。

一金五拾万円也

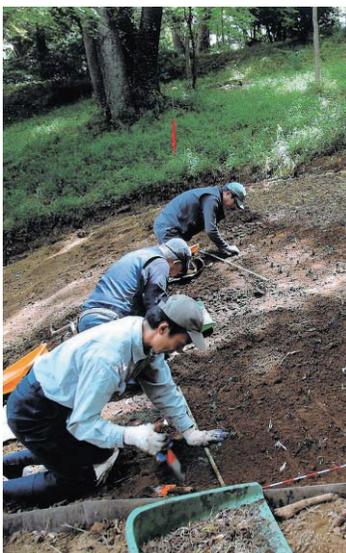
ネパール大地震被災者見舞金

皆さまがお寄せ下さいましたネパール大地震の見舞金が五拾万円になりましたので、読売新聞を通じてネパールへお届けしました。ご協力有難うございました。

彼岸花植栽予定地畧図



本号巻頭の山主ご挨拶の通り、彼岸花植栽プロジェクトはほぼ順調に推移しておりますが、皆さま方のご協力で当面の植栽が左図のように広がりましたのでご参照下さい。





新選組まつりパレード 旧甲州街道日野宿にて 5/10

高幡不動尊
フォトニュース



国宝まつりみこしパレード 4/29



「一年のうさを晴らして下さい」
林家たい平 4/28



東日本大震災復興支援物産展
4/26～4/29



木遣が先頭のお練り
(江戸消防記念会第九区・4/28)



新選組隊士総慰霊法要 5/9



宮城県岩誓寺住職 佐藤雅晴先生 4/26



隊士コンテスト入賞者記念撮影 五重塔々院 5/9



新選組を語る会 歳三忌
出席250名 5/9



きものクイーンコンテスト 参道にて 5/9

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

品名 いろはもみじ

二十年もの 五本

奉納者 **一、H-I労働組合
連合会 武蔵支部 航友会**

品名 油彩画 百号

題名 **新選組出陣式**
(一頁参照)

奉納者 **日野市日野**

谷 正 幸

新洋画会事務局長

品名 浮世絵 二点

三代豊国筆(下段写真参照)

一、恋天帯娘評判記
城木屋おこま

一、恋合端唄尽

小万 三五兵衛

奉納者 **日野市**

日野 由美子

品名 伎楽面 四点

(下段写真参照)

一、伐折羅大将 二面

一、迦楼羅

一、崑崙八仙

奉納者 **日野市**

中田 仍一

**仁王門修復
寄進者芳名**
平成二十七年二月一日〜二十七年四月三十日

日野市 本妙講
横溝 妙刀

府中市 須崎 喜美子

多摩市 朝倉 紀子

多摩市 朝倉 演子

日野市 中島 基宏

**境内整備緑化資金
寄進者芳名**
平成二十七年二月一日〜二十七年四月三十日

日野市 松田 昌子
昭島市 美坂 三佐子
八王子市 山本 薫

世田谷区 大竹 迪子

府中市 青木 裕吉

立川市 太田 滋子

彦根市 西澤 政男

立川市 太田 滋子

彦根市 西澤 政男

**千田地蔵尊
奉安者芳名**
平成二十七年二月一日〜二十七年四月三十日

葛飾区 野口 直子

昭島市 伊藤 松子

大田区 小池 光江

東大和市 朴 俊一

八王子市 樋口 たい子

八王子市 樋口 誠太郎

八王子市 樋口 昌太郎

八王子市 樋口 真美古

八王子市 森田 哲三

八王子市 関 敬偉子

八王子市 草間 正樹

幟旗奉納者芳名
平成二十七年二月一日〜二十七年四月三十日

杉並区 原田 博一

世田谷区 原田 さち子

世田谷区 小澤 光雄

府中市 萩原 博子

日野市 三浦 正

日野市 増茂 典雄

日野市 岡村 美樹

日野市 安川 武雄

八王子市 篠崎 巖

八王子市 木村 茂代

八王子市 田中 八ナ

町田市 諏訪 和世

相模原市 前田 健

**彼岸花球根等
奉納者芳名**
(五月七日現在)

5000個 日野市 **平 力男**

6000個 加須市 **実 乗院**

500個 府中市 森田チカ子

1300個 紀の川市 増尾 康博

1200個 八王子市 吉田 光明

白芍薬50株 日野市 平 力男

皇帝ダリア20株 日野市 田代 順彦



崑崙八仙面



迦楼羅面



伐折羅大将面



小万 三五兵衛



城木屋おこま

夏の行事案内 (六月～八月)

◇六月

- 1日(月) 7月7日(火) 高幡不動尊あじさいまつり
- 14日(日) フリーマーケット
- 15日(月) 青葉まつり(弘法大師・興教大師)生誕慶祝法要
於大日堂 午後一時より

法話 講師 玉泉寺 副住職 本間 啓庸先生
演題 「『こそ』のおきどころ」 聴講無料

- 15日(月) お焚き上げ(午前九時)
- 20日(土)・21日(日) 牧宥恵先生法話と写仏教室(下段参照)
- 21日(日) 月例写経会(午後一時三十分) 貴主法話
- 21日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)
- 24日(水) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(日) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

◇七月

- 12日(日) フリーマーケット
- 15日(水) 孟蘭盆会法要(午前六時)
- 19日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)
- 21日(火) 月例写経会(午後一時三十分) 貴主法話
- 24日(金) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(火) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

◇八月

- 5日(水) 彼岸花植栽プロジェクト
- 8日(土) 俳句大会表彰式及び記念大会
- 9日(日) 短歌大会表彰式
- 15日(土) 孟蘭盆会大施餓鬼法要(午後一時)
- 16日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)
- 21日(金) 月例写経会(午後一時三十分) 貴主法話
- 24日(月) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(金) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

講師 圓慶寺 住職 山川 弘巳先生
演題 「無上なる無常の教えーだいじょうぶ、だいじょうぶ」 聴講無料

「和ろうそく実演と 絵付け体験教室」

西宮市の和蠟燭職人(有)松本商店主松本恭和さんの和ろうそく実演と絵付け体験教室を左記の通り開催致します。

溶けた蠟に直接手を付けて塗っては乾かしの作業を繰り返し、目的の太さに仕上げる昔ながらの職人技をご覧下さい。
尚、同日ろうそくに絵付けの体験もあります。

記

日時 六月二十日(土) 二十一日(日)

午前十時～午後四時
会場 五重塔塔院大ホール
体験料金 五〇〇円 (ろうそく代込)

※体験お申込は当日、会場にてとなります。



牧宥恵先生「法話と写仏教室」

紀州根来山(ねくら)の画僧・写仏布教の第一人者、牧 宥恵先生と楽しく学び心が安らぐ「法話と写仏教室」を左記の通り開催致します。

仏と出会う「浄行」としての写仏は注目を集めています。初心者の方からご参加できますので奮ってご参加下さい。尚、両日とも会場に於いて三味画小品展も開催されます。

記

○日時 六月二十日(土)・二十一日(日)

午後一時～午後四時

○会場 宝輪閣地階ホール

※午後四時の護摩修行で皆さまの描かれた写仏をお不動様に奉納致します。

◇お申込み・お問合わせは高幡不動尊事務局まで

電話 〇四二―五九一―〇〇三二



昨年ご参加の

皆野町 馬場 幸子さん

今回は二回目の参加でし

筆 牧宥恵 話が写仏の前の牧先生のお話が大変有意義でした。ユ

ーモアを交えて多方面にわたる話題を取り入れながら、

天 仏像についての細かい知識

飛 や弘法大師の教えなど本当

のためにになりました。写仏

も初回より筆の使い方、墨

のつけ方等がうまく出来た

ように思いました。

あじさいまつり諸行事案内 (六月一日～七月七日)

- 山内八十八ヶ所巡りクイズの会……………(毎日)
- 奥殿寺宝展拝観(拝観案内は一時四十分から)……………(毎日)
- 大日堂鳴り龍拝観・茶庭拝観……………(毎日)
- 五重塔無料休憩所(午前九時～午後四時)……………(毎日)
- 薄茶接待……………(六月中の水曜・木曜・金曜と六月六日・七日及び六月二十七日・二十八日の土日(午前十一時～四時))
- 少年柔剣道奉納大会……………六月七日(日)
- 日本拳法奉納大会……………六月十四日(日)
- フリーマーケット(雨天中止)……………六月十四日(日)
- 青葉まつり(両祖大師ご生誕慶祝法要)……………六月十五日(月)
- 牧宥恵先生法話と写仏教室……………六月二十日(土)・二十一日(日)
- 和蠟燭実演と絵付け体験教室……………六月二十日(土)・二十一日(日)
- ござれ市(骨董市)……………六月二十一日(日)
- 月例写経会(貴主法話午後一時三十分より)……………六月二十一日(日)
- 千体地藏尊月例法要……………六月二十四日(水)
- ご縁日……………六月二十八日(日)
- 空手奉納大会……………六月二十八日(日)

あじさいまつり写真コンクール作品募集

テーマ①あじさいの部…平成二十七年のあじさいまつり期間中の高幡不動尊及び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品

②四季の部……………平成二十六年以降の高幡不動尊及び門前町の四季の風物、行事等の作品

サイズ カラープリント「六ツ切以上四ツ切迄・ワイド可」

締 切 平成二十七年七月七日(火)必着

応募規定①期間中に撮影の自作品(未発表のもの)

②作品ごとに応募票を貼付 ③資格は高校生以上

④作品に関する肖像権は応募者本人の責任となります。

尚、応募作品は原則として返却致しません。

入選発表及び表彰式は八月二十三日(日)高幡不動尊客殿洋間

あじさいまつり俳句・短歌大会作品募集

兼題 高幡不動尊境内及び門前町の四季囀目作品(未発表作品に限る)

応募 一組 二首又は二句(一人何組でも可)

用紙 規定の用紙又は二〇〇字詰め原稿用紙(B5版)使用のこと

入花料 投稿時納入 短歌一組一〇〇〇円(但し記念大会参加料を含む)

投稿先 日野市高幡七三三 高幡不動尊あじさいまつり事務局宛

(〒一九一―〇〇三)

締切 平成二十七年七月七日(火)まで(当日必着)

選者(肩書等略・五十音順)

短歌 大河原惇行・狩野一男・長澤ちづ・福田龍生・

楨 弥生子・松坂 弘の諸先生及び当山貫主

俳句 大久保白村・大竹多可志・鍵和田柚子・柏田浪雅・

阪田昭風・笹木 弘・鈴木貞雄・鈴木節子・

高橋悦男・棚山波朗・橋爪鶴麿・星野高士・

山崎千枝子の諸先生及び当山貫主

掲出 入選作は九月末まで宝輪閣又は五重塔々院に掲出する

表彰式及び記念大会

短歌 八月九日(日) 一時開会 表彰式及び講評

俳句 八月八日(土) 正午開会 当季雑詠二句

記念講演 講師 俳誌かびれ主宰

演題 『俳句の生まれる現場』「野ざらし紀行」逆まわり



岩見ナデシコ



仁尾ヶ内テマリ



瀬戸の春祭り



土佐の蛍



未来



羽衣の舞



白雪姫



湖畔の華



奏音の星



お大師さまがお待ちしております。

多摩丘陵の一角を占める高幡不動尊三万坪余りの境内は千古の緑に包まれ、四季折々の花木を楽しむことができます。裏山には明治四十二年開設の山内八十八ヶ所の弘法大師像がまつられており森林浴を兼ねてのお参りは約一時間。あじさいまつり期間中巡拝路沿いに一〇間のクイズが出され、毎年多勢の方がクイズを楽しみながら参拝されます。解答用紙は、不動堂前、五重塔無料休憩所、五重塔外階段下、大日堂、大師堂、交通安全祈願受付所、山内八十八ヶ所一番札所に置いてあります。解答は事務局か宝輪閣受付へお持ち下さい。

尚、正解者の中から抽選で一五〇名の方に賞品を差し上げます。

山内八十八ヶ所 巡りクイズ

紫陽花
不動香発売
一箱一、〇〇〇円
(六・七月限定)



◎あじさい守り授与(二体 各五〇〇円)
○あじさいまつり期間限定にて色とりどりのあじさい守を授与しております。

春季大祭国宝まつりに参加して

東日本大震災慰霊大法要

「東日本大震災の今」

佐藤雅晴先生講演 (4/26)

川崎市 澤村 陽佳

講演にて「地震・津波を憎いと言う人は誰一人いなかった。みんな海から頂く恵みで生きているから・・・」といった話がとても印象に残っています。私達は自然と共にしか生きていけないわけですからこの大震災のことを忘れず、多くを学び祈り続けていくことは大切なことだと思えました。法要も心が込もって感動しました。

八王子市 菅原 壮司
此度講演の佐藤先生は小生の戦中・後の少年期疎開した岩沼市の住職と伺い縁浅からじと拝聴させていただきました。三・一一以後、年一回見舞いに行っておりです。親戚数軒は床上浸水し、新たに建直しましたが、ご苦労が多いようです。

高幡不動尊様では名取市の観音寺地藏堂再建にお力添え下さいまして有難うございます。

日野市 中村 輝実

大震災の当事者である和尚様の話を直にうかがい胸に

まるものがありました。生きていく今の自分が何を大切に何をなすべきか、ゆっくり考える時間が持てたことは大変にありがたいことでした。

大写真会 (4/27)
清瀬市 加藤 典子
新緑の四月の末に心豊かに写経をと思ひ、昨年に続き参加しました。初めての昨年はドキドキしながらでした。年に一回筆を持つのは色々な事を忘れて良い心の栄養になりました。元気で一年過します。

府中市 福井 健次
年に一度の今日の写真会を楽しみに致しております。このひとときを皆さんと一緒に過せることがとても幸せです。これからもずっと続けて行ける様に頑張りたいと思います。
東大和市 齋藤智恵子
心が落着かない毎日を過しておりました。お陰様でゆっくりと筆を運び心願成就をお願いすることが出来ました。

「仏さまの法を

伝え弘めることとは」

小林靖典先生講演 (4/27)

春日部市 木村 聖子

今日は有り難うございました。小林靖典先生のやさしい笑顔と語りくちで法話が分り易かったです。これからも写経に専念し仏様と対話をしていけるよう考えて続けていきたいと思ひます。

調布市 大音津由子
八十二才となり死を考える様になり、仏教に関心が出て少し勉強しているところです。先生のお話は大変わかりやすく笑顔で心なごむ雰囲気でした。疑問に思っているところも解決しました。

前にお地藏堂様を前に (4/26)
東日本大震災慰霊大法要

日野市 田島美和子
日野市に住む様になり五年が経ちました。高幡不動尊に



にこやかに語りかける
小林靖典先生 (4/27)

が兄弟ででき良い記念にもなりました。
日本の伝統を教えることができ、親としても良かったと思ひました。

日野市 野中 克代
三月十七日に九十六才になる母を送り心寂しい日々を過していました。

その様な時、孫娘の弓佳がお稚児さんに出たいと申しましたので、昨年に続き参加させていただきますました。お手綱の大役をいただき無事に果すことが出来ました。光栄なお役を与えていただきましてお不動様・ご先祖様・亡き母に感謝しています。

日野市 山田 陽

三十三年前に参加した稚児行列に親として参加でき、とてもうれしく感じます。この子供も又子供を連れて、今度は祖父として参加したいと思ひます。

千体地藏尊総回向法要 (4/29)

日野市 斉藤 博美

一年に一度ご先祖様に会える心が改まる気がします。元気で参加出来る事に感謝。

新宿区 山本かつ子

毎年法要に参加させていただいております。皆様心をこめて参詣焼香なされる姿、お





五重塔最上層よりパチリ！ (4/28)

堂に響くお経で心が洗われま
した。来年も又私のお地藏様
に会えますようにと手を合せ
ました。スロープが出来、イ
スがあるので安心して参加出
来ました。

町田市 井口 喜義
春の暖かい日に鳥の鳴き声
を聞きながら境内を歩き、千
体地藏尊総回向法要に参加し
気持ちも新たに一年のスター
トが出来ました。

林家たい平師匠落語会 (4/28)
八王子市 小山 嘉代
国宝まつりに参拝させてい
ただいたのは今回で二度目
です。たい平さんの話術とても
上手で楽しく心から笑えます
とても熱心な演技でした。又
来年も、たい平さんを楽しみ
にしております。

八王子市 岩下サト子
主人の介護で長時間の外出
が可能な日々でしたが、本
日の大祭に出席させていた
き感謝いたします。

林家たい平師匠のお話で久
しぶりにストレス解消する事
が出来ました。本当にありが
とうございました。来年も出
席させていただけるよう健康
に留意し、毎日を過したいと
思います。

五重塔仏伝彫刻拝観 (4/28)

八王子市 樋口 徹
年に一度の五重塔開放日に
恵まれ、天候も良く日野市内
の展望がすばらしかったです。

日野市 工藤 英雄
五重塔を初めて拝観し登り
ました。四国八十八ヶ所を思
い出す石仏に感動しました。
階段はローマのバチカンの
塔に登った時と同じ様に感動
の至りです。

富士見市 有坂 弘
五重塔に初めて登らせて頂
きましたが楽には登れませ
んでした。人生と同じですね。
年に一度の好運に恵まれま
した。

「戦国領主

高幡高麗氏の実像」
峰岸純夫先生講演 (4/29)
日高市 島崎



千体地藏尊総回向法要 (4/29)

埼玉県日高市の高麗との関
係がわかりました。

高麗神社と高幡不動尊は無
関係のように思っていました
が、少し関連があるのだと考
えるようになりました。

日高市に「平」姓が集まっ
ている地区があり、これはど
ういうことなのか気になっ
ています。

八王子市 田中 紀子

戦国領主に興味がありまし
たので楽しく拝聴させて頂
きました。

私は八王子に住んでおりま
すので、横山和田などの地区
のルーツが解りました。歴史
にはまりそうです。

狭山市 中村 晴美
高麗郡建郡一三〇〇年を迎
える講演を高麗神社で聴いて

きたので高幡不動尊とのつな
がり、とても興味深くおも
しろかったです。

奉納神輿練り (4/29)
子供みこし
長良 涼平

みこしをかついだら重くて
びっくりしました。でも楽し
かったので、またやりたいで
す。

八王子市 田野 大志
同級生に誘われて参加させ
て頂きました。初めて神輿を
かついだので、とても楽しか
ったです。

また都合を合わせて参加で
きたらと思います。



記念講演 峰岸純夫先生 (4/29)

東日本大震災犠牲者慰霊地藏尊像
二万体制安事業へのご協力をお願い



皆さまにご協力をお願いしております東日本大震災犠
牲者慰霊地藏尊像奉安事業は五月二十日現在八六〇〇体
達しておりますが、尚一層のご支援・ご協力をお願い申しあ
げます。

多摩都市モノレール 「あじさいまつり」

キャンペーン

多摩都市モノレールでは、「あじさいまつり」開催期間中にキャンペーン企画を実施致します。奮ってご参加下さい。

◆企画内容

多摩都市モノレール高幡不動駅で配布する「キャンペーンカード」の所定箇所に「あじさいまつりスタンプ」を押印する。これを高幡不動尊及び駅周辺の協賛店舗で提示することにより各種割引等を受けることができます。(特典は日付け当日のみ)

◆実施期間

六月一日～七月初旬

※お問い合わせ先

多摩都市モノレール

総務部事業課営業係

☎〇四二(五二六)七八一七



「密厳流御詠歌」の御案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、青葉まつり、大施餓鬼会などの法要でお唱えします。高幡不動尊では左記の通り御詠歌のお仲間を募集しております。どうぞお気軽にご参加下さい。

一、名 称 密厳流遍照講

高幡山支部

一、お稽古 月二～三回

午前十時～十二時

一、会 費 月謝 三〇〇〇円

(但、道具等は別費)

一、指 導 密厳流師範

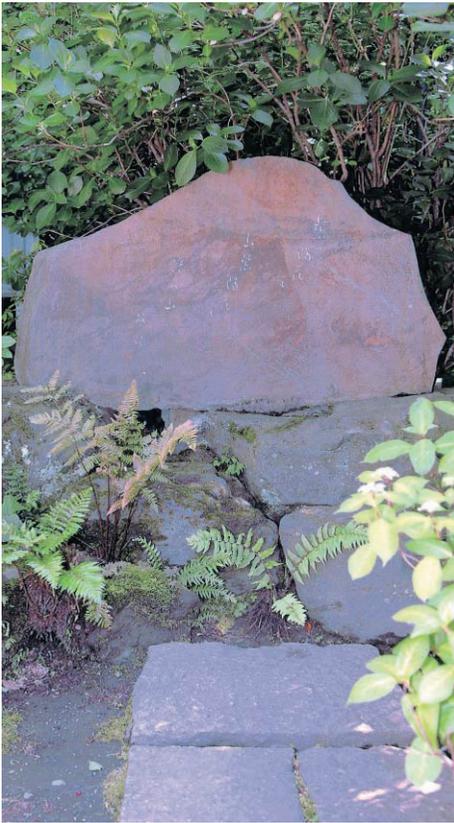
※問い合わせ先

高幡不動尊内 御詠歌係

電 話 〇四二(五九二)〇〇三二

当山の記念碑・文学碑(3)

「紫陽花も山紫陽花も法の山」 敏郎



御詠歌をお唱えする講員さん

山主の主な動静

- 俳誌若葉主宰 清崎敏郎先生のこの句碑はもと事務局前にあったが、境内整備の都合で大日堂前の現在地に移された。その折謙虚なお人柄の先生は「山口誓子先生の句碑より奥でも宜しいのですか」と。
- 3/1 光明寺(福島第一教区) 参拝団
 - 3/2 読売新聞取材
 - 3/4 日野消防署研修(講師)
 - 松野弘子様叙勲祝賀会(浅草)
 - 3/8 宝泉院入仏開眼法要(導師)
 - 3/13 観光協会正副理事会
 - 3/21 正御影供・彼岸会法要
 - デリー大学取材
 - 3/23 仁和会評議会
 - 3/25 智山教化センター打ち合せ
 - 3/26 日野七福神会総会
 - 3/27 新選組まつり実行委
 - 4/8 花まつり法要
 - 4/14 観光協会山下事務局長送別会
 - 4/15 京王文化探訪取材
 - 4/21 BSスカパー取材
 - 高野山開創法要清宴(本山)
 - 4/23 マハヤナ総会
 - 4/24 新選組まつり実行委
 - 4/26～4/29 春季大祭国宝まつり
 - 5/6 日野俳連新緑句会
 - 5/9～5/10 新選組まつり
 - 5/18 教化センター講演(別院)
 - 5/19 宗機顧問会(本山)
 - 5/27 日野仏総会
 - 5/28 五月大祭
 - 5/29 観光協会総会

高幡俳壇

祐勝選

天 画眉鳥のおどけし声や山笑ふ 八王子市 清水 和美

(評) 鶯などに影響を与えている中国南部の鳥画眉鳥の鳴き声はやかましい程である。

地 さへずりの風鐸ゆらすほどにかな 八王子市 栗本佐多子

(評) や、大袈裟の表現だが囀りと風鐸の音が調和。

人 春浅し詠歌ながるる大師堂 杉並区 高山 千代

(評) 詠歌流るるに早春の雰囲気が出ている。

佳作 異国語の飛び交う暮の駅舎かな 日野市 野口 五郎

里山に乳牛の声春隣 多摩市 松山 英子

山鳥の疾駆尾羽根で舵を切り 八王子市 石川 允義

鳴り止まぬ目覚時計春寒し 練馬区 大石 良雄

一雨のありたる園に春惜しむ 日野市 斉藤 勝実

下萌ゆる舗装道路の裂け目縫ひ 吉川市 山田 収一

たのしみは摘みしつくしの玉子とじ 日野市 益本 恒夫

鉄形に武将の気迫武具飾り 高根沢町 西形 知子

旧駅舎春の草花展開く 八王子市 大串 若竹

風薫る新選組の青い列 小平市 窪田 恵子

花大根灯台脇に畑少し 杉並区 北原登美子

選者吟 葛城の道は高野へ柿若葉

なにげなくつかっている仏教のことば―滅法(めつぼう)

滅法とは、「めつぼう強い」ち(法や規範を無視した)

などというように、「むやみ」という意味にとったもので、

に「やたらに」「めちゃくちゃ」「無法」と同義に用いるよう

や「非常に」「法外に」とい になり、これから「めちゃく

つた意味で用いられています。 ちゃ」の意となったものです。

これは滅法の語をその文字 これに対し仏教で滅法とは、

通りに、法を滅した、すなわ 生滅や変化から離れているも

高幡俳壇 作品募集

応募規定

応募規定

一、はがき一枚に二句記載何枚でも可(無料)

一、選者は当山 川澄貫主

一、秀逸三句に記念品贈呈

一、投稿先

〒一九一〇〇三一

東京都日野市高幡七三三

高幡不動尊・山報係宛

○ご投句が多く大部分の方の句が掲載出来ませんが、悪しからずご諒承下さい。

お不動さま教えて?

ご質問 先日、新車を購入したので、高幡のお不動さまに交通安全のご祈願に伺いました。そのとき、お祓いをしていただいたお堂に「降魔殿」の額が掲げられていました。何か、悪魔が降つて来ような意味に思えてなりません。本当はどのような意味なのでしょう。か、どうかお不動さま教えて下さい。お答え下さい。



この中の第五の「降魔」の場面より名をいただき、

お釈迦さまの一生の中で重要な出来事を示したものに八相成道があります。すなわち「降兜率」兜率天でほぼ修行を完成した釈迦は、最後となる生でブツたとなるため、白象に乗って降った。「托胎」摩耶夫人の胎内に宿る。「出生」ルンビニーで摩耶夫人の右脇から生まれ、七歩あゆみ「天上天下唯我独尊」と宣言

した。「出家」世の無常を觀じ、出家をする。「降魔」六年におよぶ苦行の後、スジャータより乳粥の供養を受け、ブツダガヤの菩提樹の下で禅定(瞑想)に入り、すべての悪魔(煩惱)を降伏させた。「成道」ついにさとりを開く。「転法輪」サールナートにて初めて説法を行い、以後、各地で四十五年にわたって説法をつづけた。「入滅」クシナガラ沙羅双樹の間で涅槃に趣いた。という八つの出来事です。

また、高幡のお不動さまの五重塔の下の休憩所には、お釈迦さまの一生をさらに詳しく十五の場面にしたレリーフがあります。すなわち「托胎」「誕生」「天上天下唯我独尊」「占相」「武芸と修学」「酒池肉林」「四門出遊」「出家」「苦行」「乳糜供養」「禪定」「降魔」「説法」「遊化」「涅槃」の十五です。お参りの際、ご鑑賞くださればと思います。

また、高幡のお不動さまの五重塔の下の休憩所には、お釈迦さまの一生をさらに詳しく十五の場面にしたレリーフがあります。すなわち「托胎」「誕生」「天上天下唯我独尊」「占相」「武芸と修学」「酒池肉林」「四門出遊」「出家」「苦行」「乳糜供養」「禪定」「降魔」「説法」「遊化」「涅槃」の十五です。お参りの際、ご鑑賞くださればと思います。

(小林靖典)

皆様からのお便り

名取市観音寺

(二万休地蔵尊奉安先のお寺)

檀徒 鈴木 英二

高幡不動尊春季大祭国宝ま
つりの東日本大震災慰霊大法
要に参列させていただき、貫
主様はじめ皆様の復興支援へ
の厚い思いが伝わり感激いっ
ぱいです。

私どもは震災により家屋は

じめ財産の全てを失い、また
コミュニティも崩壊に至りま
した。その再生である本堂の
再建、海岸林の育成、そして
農業の再生に取り組んでいま
す。ようやく今年から農業の
生産が始まり生活再建の道筋
が見えてきました。そのよう
な中、今回の高幡不動尊様よ
りご支援の地藏堂建立のお話
は大変力強く感じております。

私達北釜の地（今は居住でき
ない地域）に地藏堂建立の白
羽の矢を立てていただいたこ
とは大きな心のよりどころに
なることと考えております。

陶芸家洪谷太郎様の地藏様
造立の思いを伺い、そのお氣

持ちに報いるため北釜観音寺
檀信徒でがんばっていいこうと
思っております。 合掌

観音寺檀徒 森 弘子

東日本大震災慰霊大法要に
参列させていただきありがと
うございました。初めて京王

境内に一歩足を踏み入れると、すがすが
しい気持ちになり、仏さまに守られている
と感じます。

落語家 林家たい平



林家たい平
昨年も出
席させてい
ただき温か
いお客様ば
かりでした。
今年も出口
の所まで立
ち見で見て
下さって、
たくさんの温かいお客様で、本当にありが
たく高座を努めさせていただく事が出来ま
した。ありがとうございます。

線に乗って高幡不動駅に着き
参道をゆっくり歩いてきまし
たので、この町の方々が好不
動様をどんなに大切にされて
きたかを感じさせられました。
境内に入るとその敷地の広さ
とお不動様の大きく凛々しく

まばゆいばかりのお姿に感激
致しました。そして貫主のお
話の中で「高幡不動尊に来て
いただいて命の洗濯をしてく
ださい」という言葉の意味を
境内の随所に感じたことです。
今回はゆっくり見て廻ること

林家たい平

はできません
でしたが、是非紫陽花の咲
く六月に命の
洗濯に訪れて
みたいものだ
と思いました。
門口 咲
昨年川島
町の永井先生
に紹介され高
幡不動尊に伺
い、高僧のお
話や近くでの
不動様の護摩
太鼓は初めて

の経験で強く心に響き、俳句
に書きまとめたところお蔭様
にて入選させていただきました。
うございました。また牧先生
に仏画も指導いただき有難
うございました。今後共よろ
しくお願いいたします。

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時〜午後五時
午後四時半までにお申込下
さい。

ご祈願料 金三千元也

御護摩修行

○平日 八時・十時・

十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・

一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は

五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・

十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料 金参千円也

金五千円也

金壹万円也

(大護摩) 金参万円以上

ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行

者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)

毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市)

毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ

毎月十五日午前九時

月例写経会

毎月二十一日午後一時半

千休地蔵尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時〜午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時〜午後四時

参拝料 二〇〇円

(月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止にな
りますのでご諒承下さい。

編集室だより

先月二十五日のネパール大
地震で多くの人がなくなり、
更に五月十二日にもまた大き
な余震に見舞われました。箱
根の大涌谷のマグマも活発に
活動し、地球の内部がゆらい
でいるように思えます。ネパ
ールの一日も早い復興を祈念
しています。

今回は春季大祭のご報告と
あじさいまつり・夏の行事を
中心にお届け致します。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別格本山 寺
高幡山金剛

電話 (042)591-0032(代)
FAX (042)593-3038

発行人 杉田 純一

年4回発行・再生紙使用

高幡不動尊境内略地図

山内八十八ヶ所とあじさいマップ

可憐な山あじさい
あじさい、がくあじさい

山内八十八ヶ所巡拝路
四季のみち
あじさいのみち



- 不動堂……毎日護摩修行・新丈六不動三尊参拝
(どなたでもご参加頂けます)
- 奥 殿……日本一の不動三尊(重文)・大日如来像(平安時代中期)
ほか指定文化財・新選組資料・寺宝多数展示
(当山職員による案内説明・午後1時40分から)
- 大日堂……鳴り龍・襷絵(桂林朝陽夕粧)・新選組位牌等多数展示
無料休憩所・千体地藏堂参拝・釈迦三尊像参拝
(6/6・7、6/27・28の土・日曜日)
- 五重塔……薄茶接待
- 茶室……薄茶接待

- 御護摩修行
- 平日 8:00・10:00
11:30・1:00・3:00
 - 土曜/日曜/祝日
8:00・10:00・11:30
1:00・2:30・4:00
 - 但し1日、15日の午前中は
5:00・10:00・11:30
 - ご縁日(28日)
5:00・9:00・10:00・11:00
12:00・1:00・2:30・4:00
- 交通安全折願
午前9:00～午後5:00
午後4:30までにお申し込み下さい。
- 月例写経会
毎月21日 午後1:30
- 千体地藏尊月例法要
毎月24日 午後2:00

フリーマーケット(御サイクル市)
毎月第2日曜日(8月はお休み)
ござれ市(がらくた市)
毎月第3日曜日

別格本山 高幡山金剛寺 東京都日野市高幡733 電話(042)591-0032代 FAX(042)593-3038

